

化学物質等安全データシート (MSDS)

作成日 2009/01/05

改訂日 2010/12/28

1 化学物質等及び会社情報

- 【化学物質等の名称】** シンプルグリーン フォーム
製品品番：SGF
- 【供給者】** ムラテック KDS 株式会社（総輸入発売元）
- 【住所】** 京都市南区東九条松田町 39
- 【担当部門】** 業務部
- 【電話番号】** 075-662-7325（問合せ先・緊急連絡先）
- 【FAX 番号】** 075-661-2764
- 【推奨用途】** 工業用洗剤・脱脂剤
うすめずに使う掃除・脱脂用の泡タイプ洗剤。さまざまな表面（垂直や手の届きにくい場所）に使える。オープン、レンジフード、換気扇、タイヤのホイール、カウンター、グリスや油落とし、ストーブの天面、冷蔵庫、シンク、バスタブ、タイル、トイレ、キャンバス地、アウトドアやスポーツ用品、ゴミ箱など
- 【使用上の制限】** シルク、ウール等の天然繊維、白木、革製品などには使用しないこと

2 危険有害性の要約

【GHS分類】

高圧ガス	圧縮ガス
皮膚腐食性/刺激性	区分3
皮膚感作性	区分1
生殖毒性	区分2
特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）	区分2（中枢神経系、肝臓、腎臓、血液）
特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）	区分2

【GHSラベル要素】



警 告

危険性有害性情報

加圧ガスを含有；熱すると爆発のおそれ
軽度の皮膚刺激
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
血液、中枢神経系、腎臓、肝臓の障害のおそれ
長期又は反復暴露による臓器の障害

注意書

熱／火花／裸火／高温のような着火源から遠ざけること。－禁煙。
裸火または高温の白熱体に噴霧しないこと。
加圧容器：使用後穴をあけたり燃やしたりしないこと。
ミスト／蒸気を吸入しないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保護手袋を着用すること。
使用前に説明ラベルの安全注意をよく読み理解するまで取扱わないこと。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当を受けること。
皮膚についた場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
特別処置（MSDSの4．応急処置を参照）
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯すること。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
暴露した時、または気分が悪い時は、医師に連絡すること。
気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。
日光から遮断し、50℃ を超える温度に暴露しないこと。
換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。

内容物／容器を国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

化学名又は一般名：住宅用洗剤

成分、含有量、官報公示整理番号及び CAS No.

成分名	含有量%	化審法官報公示整理番号	CAS No.
2-プトキシエタノール 【エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチル エーテル、ブチルセロソルブ】	1-5%	2-407、2-2424、 7-97	111-76-2
α-アルキル (C12~16) -ω-ヒドロキシポリ (オキシエチレン)	1-5%		68551-12- 2
亜硝酸ナトリウム	<1%	1-483	7632-00-0
トリエタノールアミン 【2,2',2''-ニトリロトリス (エタノール)】	<1%	2-308	102-71-6
プロパン	1-5%	2-3	74-98-6
n-ブタン	1-5%	2-4	106-97-8

4 応急処置

吸入した場合

濃縮された高圧ガスは呼吸器の炎症、頭痛、吐き気、疲労、眠気などの不調を引き起こす。
空気の新鮮な場所へ移動させる。
必要であれば酸素吸入を行う。
呼吸をしていない場合は、人工呼吸を行う。
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

症状があるとしても極めて僅か。
皮膚についた場合は水と石鹼でよく洗うこと。
靴や衣服はもう一度使用する前に洗剤・洗濯すること。
皮膚の敏感な方は刺激や、可逆性の赤色反応が起きる事がある。
治らない場合は、更に水ですすぎ医師に相談すること。

目に入った場合

充血する可能性がある。
すぐに大量の水で10~15分間、または内容物が完全に除去されるまで洗うこと。コンタクトレンズを着用している場合は外すこと。水洗い中はまばたきをくりかえすこと。
目の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合 特に毒にはならない。
水を何杯も飲ませて薄める。
吐かせるのは良くない。
胃の具合が悪ければ医師に相談すること。

5 火災時の措置

消火剤 粉末・噴霧又は泡消火剤
特有の危険有害性 可燃性高圧ガスを含む。
可燃性の成分は空気よりも重く、長距離を移動し、低い位置にたまり、取扱い場所から地面に沿って広がるので、可燃性のものを周囲より取り除く。
可燃箇所に直接水を噴霧すると、再点火する可能性がある。

特有の消化方法 容器の破裂を防ぐため、水で冷やす。
可能な限り、すべての着火元を除外する。
こぼれた部分を囲い込み、流出を阻止する。

消化を行う者の保護 自給式呼吸器（酸素呼吸器、陽圧型、全面形面体付）を装着しなければならない。

*備考

DOT Flame Test（火災拡大のテスト）結果では、シンプルグリーンフォーム自体が火を再着火、もしくは拡大させることはなかった。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項 目に入らないようにする。

保護具及び緊急時措置 作業中の手で目をこすらない。
皮膚に対する特別な保護具は必要ない。
適切な方法でまだ使える部分を回収する。
残留物は濡れたモップ等で拭き取る。
汚染された作業着等は作業現場以外に持ち込まない。

環境に対する注意事項 何もない空間をつくり、全ての発火元を消す。
特に低い場所にガスがたまるため、換気を行う。
下水は清潔に掃除しておく。

回収・中和 スポンジやタオル、モップで回収する。
大量の水ですすぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

通常の使用時では特別な換気装置は必要ない。

換気のよい場所で取り扱う。必要に応じて換気扇を使用する。

使用前に説明ラベル記載の注意書きを読み理解する。

加圧容器：使用后ピンや釘をさしたり、その他のとがった物体で缶を開けたりしない。

【注意事項】

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙

裸火または高温の白熱体に噴霧しないこと。

火気を使用している室内で大量に使用しないこと。

食品や人体に使用しない。

【保 管】

技術的対策：施錠して保管すること

保 管 条 件：熱や火の粉、裸火、直射日光を避け、涼しいところに保管すること。

（40℃以下での保管を薦める）

換気の良い場所で保管すること。

水分や湿気の多いところに保管すると容器が腐食し液漏れが生じる可能性があるので注意すること。

長期間の保管は避ける。

子供の手が届くところに置かない。

8 暴露防止及び保護措置

【許容濃度】 通常使用において特別な予防は必要ないため、設定されていない。

【設備対策】 通常使用において特別な対策は必要ない。

【保護具、保護対策】

呼吸器の保護 通常使用において、呼吸器の保護は必要ない。

手の保護 特別な対策は必要なし。

目の保護 はねやしぶきが目に入るときは、保護ゴーグルやフェイスシールドを装着する。

皮膚及び身体の保護 通常使用において、手袋やその他の保護は必要ない。

長期間や繰り返し、長時間にわたる使用では、皮膚炎やアレルギー反応のような症状が出ることもあるため、手袋をし、保護クリームを塗り、化学用エプロンや他の皮膚保護具を使用すること。

【衛生対策】

蒸気やミストを吸い込まない。

目に入らないようにする。

使用中に飲食または喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手をあらうこと。

9 物理的及び化学的性質

外観	白い泡
臭い	石鹼の香り
pH（原液）	9.35
凝固点	データなし
沸点（融点）	100.6℃
引火点	不燃性
爆発範囲	非爆発性
蒸気圧	18mmHg@20℃
比重	1.025±0.015
溶解度	水溶性 100%
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	不燃性
分解温度	データなし

10 安定性及び反応性

化学的安定性	安定
避けるべき条件	高温場所での使用
混触危険物質	特になし
危険有害な分解生成物	特になし

11 有害性情報

急性毒性	口徑 LD 50（ネズミ） > 5.0 g / Kg 体重
	皮膚 LD 50（ウサギ） > 2.0 g / Kg 体重

皮膚腐食性・刺激性	(可逆性の) 弱刺激性 ウサギによる 72 時間のテストでは 0-8 段階のうち 0.2 (反応なし) であった。
目に対する重篤な損傷・刺激性	ウサギによる 24 時間のテストでは水洗いする／水洗いしないの条件下で、0-110 段階のうちの 15 (弱刺激性) を超えなかった。
生殖細胞変異原性／生殖毒性	CD-1 ネズミの繁殖率と再生産性に対して、18 週間の連続投与では何の悪影響もなく、又、その子孫の再生産能力にも悪影響はなかった。
特定標的臓器・全身毒性－単回暴露／特定標的臓器・全身毒性－反復暴露	日常使用での皮膚への暴露では有害性はない。(ウサギに 2 g/kg/日を 13 週間塗布する実験による) 繰り返し、長期間にわたる暴露では皮膚刺激が起こる場合がある。
発がん性	OSHA、IARC、NTP に記載されている物質は含んでいない。

1 2 環境影響情報

【生体毒性】	低い
【生分解性】	容易に分解される * シンプルグリーンフォームに含まれている界面活性剤は HERA (Human Environmental Risk Assessment) で高分解性に分類されている。
【生体蓄積性】	データなし
【土壌中の移動性】	データなし

1 3 廃棄上の注意

残余廃棄物	水溶性 100%・生分解性の為、排水溝に流しても下水処理用のバクテリアにも無害。残余廃棄物、使用後の廃液、未使用後の液に関わらず廃棄時には、国／都道府県／市町村の規則に従って処理を行うこと。使用後の廃液は海や河川などの公共用水域に流さない。
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後、処分する。火に投げ入れないこと。

直射日光のある場所で保管しないこと。

国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

1.4 輸送上の注意

【国内規制】

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合、法令に従って輸送する事。

内陸水路輸送：船舶安全法の定めに従う。

海上輸送：船舶安全法の定めに従う。

航空輸送：航空法の定めに従う。

【国際規制】

国連分類	クラス 2.1 圧縮ガス
国連番号	UN 1950
容器等級	該当しない

1.5 適用法令

労働安全衛生法

法第57条、政令第18条第3号の5（名称等を表示すべき危険物及び有害物）

- ・エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル

政令第18条の2 別表第9の79（名称等を通知すべき危険物及び有害物）

- ・エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル
- ・トリエタノールアミン
- ・n-ブタン

化学物質管理促進法（PRTR法）

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

水質汚濁防止法

該当しない

1.6 その他の情報

引用文献

JIS Z 7250 : 2005 (化学物質等安全データシート : 内容及び項目の順序)

JIS Z 7251 : 2006 (GHSに基づく化学物質等の表示)

NITE (独立行政法人製品評価技術基盤機構) HP

ここに使用したデータはメーカー及び認定技術機関が入手したものであり、購入者側の目的に合致するか否かの判断は購入者側の責任になる。従って情報提供には十分な注意を払ったが、購入者の意図する目的にこれら情報が合致するか否か、又は、その使用結果に関しては、いかなる保証、抗議するものではなく、責任を負うものでもない。